

石油製品の価格動向について

平成18年12月14日
生活環境部
総務企画グループ

1 石油製品の価格動向調査の結果

県内の石油製品4品目について、12月4～12日に価格動向調査を実施しましたが、その結果については以下のとおりです（非定店調査）。

（単位：円、消費税込み）

品目名	規格・容量	店舗形態	前月調査の 平均価格	12月調査の 平均価格	対前月比 (%)
ガソリン	レギュラー1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	137	135	1.5
		セルフ	133	131	1.5
軽油	個人消費向け1ℓ、店頭現金売り	一般店舗	115	114	0.9
		セルフ	113	109	3.5
灯油	店頭価格、18ℓ	一般店舗	1,347	1,329	1.3
		セルフ	1,305	1,279	2.0
	配達価格、18ℓ	一般店舗	1,453	1,446	0.5
LPガス	一般家庭用、10m ³	一般店舗	6,634	6,529	1.6

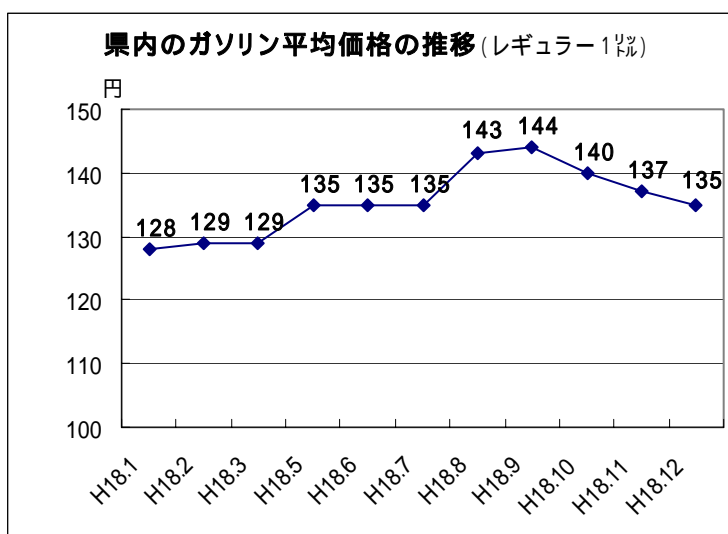
元売各社が卸売価格の値下げをしたことなどからガソリン、軽油、灯油の小売価格が値下がりした前月の調査結果と比較すると、12月は、元売各社が卸売価格を実質据え置きとしたが、小売価格の値下がり傾向は続き、全ての品目において小売価格は値下がりし、ガソリン、軽油、灯油は3ヶ月連続の値下がりとなった。

しかしながら、国際的な原油価格は現在の水準でほぼ落ち着きつつあることから、小売価格の値下がり傾向も緩やかになることが予想され、また、冬場の本格的な寒さが来れば、灯油の需要がさらに増えることなどから、今後も引き続き石油製品の価格の推移を注視していく必要がある。

2 県内の石油製品価格の推移

(1) ガソリン価格

一般店舗価格

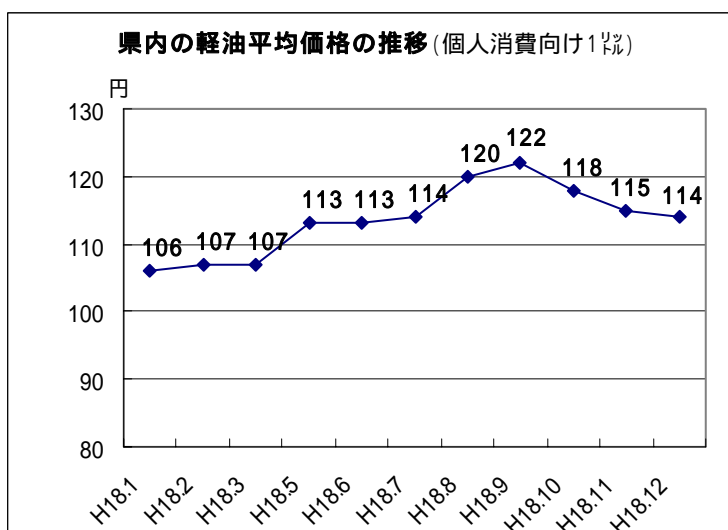


11月調査結果と比較すると、12月は2円値下がりし、今年1月以来11ヶ月ぶりに3ヶ月連続の値下がりとなり、今年8月より前の水準に戻った。

しかしながら、国際的な原油価格は現在の水準でほぼ落ち着きつつあり、小売価格の値下がり傾向も緩やかになることが予想されることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

(2) 軽油価格

一般店舗価格

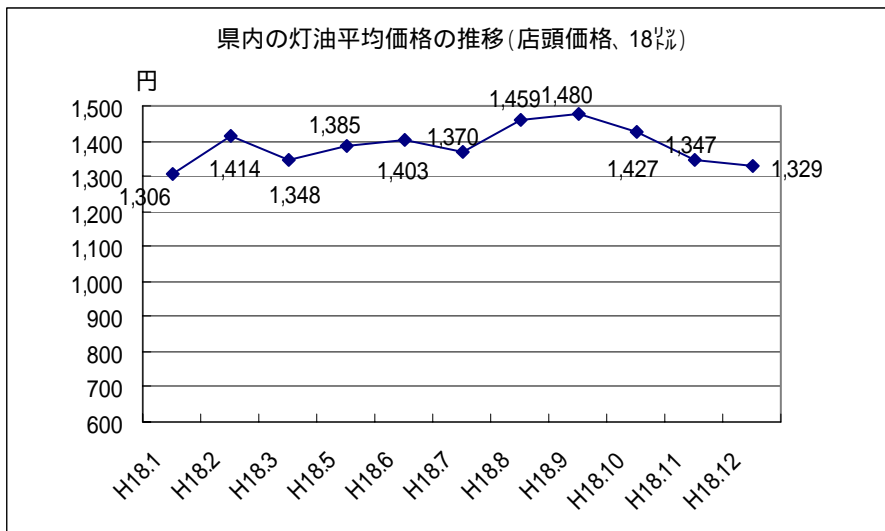


11月調査結果と比較すると、12月は1円値下がりし、3ヶ月連続の値下がりとなり、今年8月より前の水準に戻った。

しかしながら、国際的な原油価格は現在の水準でほぼ落ち着きつつあり、小売価格の値下がり傾向も緩やかになることが予想されることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

(3) 灯油価格

一般店舗価格

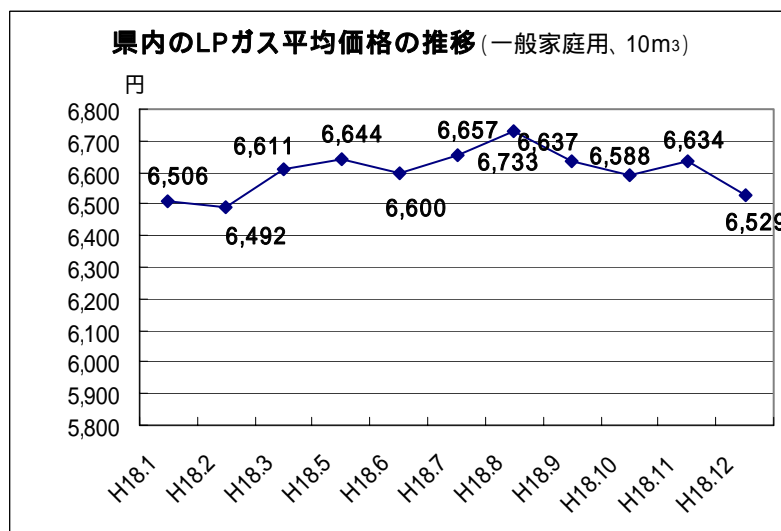


11月調査結果と比較すると、12月は、11月以降比較的気温の高い天候が続き需要が伸びなかったことなどから、18円(1ℓ当たり1円)値下がりした。

しかしながら、今後、冬場の本格的な寒さが続き灯油の需要が増えれば、小売価格も値上がりすることが予想されることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。

(4) LPガス価格

一般店舗価格



11月調査結果と比較すると、12月は6,529円と値下がりしたが、昨年12月以降高水準での推移が続いている。国際的な原油価格は現在の水準でほぼ落ち着きつつあること、日本にとって最大のLPガス供給国であるサウジアラビアの国営石油会社の船積み価格が依然として高水準で推移していることなどから、引き続き価格の推移を注視していく必要がある。